

れきはく交流展

豊後の名刀 & 大横綱双葉山

新春に

「れきはく」の

名品が

佐伯に

やってくる！



双葉山

平成31年

1/10(木) ▶ 2/17(日)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
 休館日 毎週月曜日
 (ただし、1/14(月)、2/11(月)は開館 翌1/15(火)、2/12(火)は休館)
 観覧料 一般300円 (15人以上の団体は200円)
 小・中・高校生は無料
 主催 佐伯市歴史資料館・大分県立歴史博物館

- イ** ワークショップ 刀の取り扱い実演 先着30名
 日時: 1月19日(土) 13時30分～15時30分
 場所: 佐伯市勤労者総合福祉センター 三余館 大会議室
 講師: 平川 毅(大分県立歴史博物館)
 申込先: 大分県立歴史博物館
- ベ**
- ン** **ギャラリートーク ※申込不要**
 日時: 2月2日(土) 13時30分～15時
 場所: 佐伯市歴史資料館1階展示室
 講師: 岩本輝清・平川 毅(大分県立歴史博物館)
- ト**

会場: 佐伯市歴史資料館



大方(銘「豊後国行平作」)大分県指定有形文化財



輪島化粧まわし

れきはく交流展

豊後の名刀&大横綱双葉山

平成31年1月10日(木)～2月17日(日)

新春に「豊後の名刀」と大分が生んだ「大横綱双葉山」のゆかりの品々を堪能してみませんか？

大分県立歴史博物館では、豊後刀を中心に130振余りの日本刀を収蔵しています。日本刀は、日本が世界に誇る鉄文化の結晶であるとともに、「三種の神器」の一つに数えられる神聖性を併せもつものでもあります。

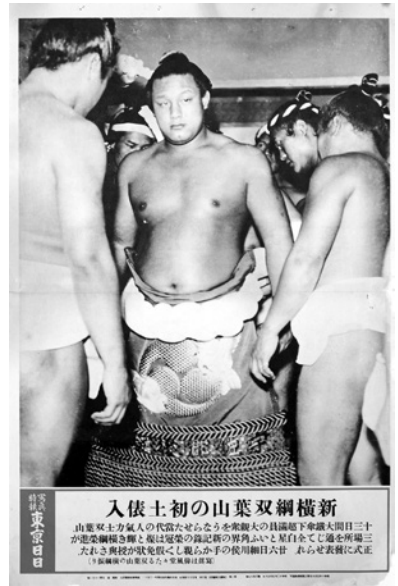
日本刀の歴史は、平安時代の中頃から始まったとされていますが、とりわけ歴史が古く、数多くの名刀を生み出した備前・山城・大和・相模・美濃の5ヵ国における作刀技術とその特色は、現在「五ヶ伝【ごかでん】」と呼ばれています。郷土おおいたは、この五ヶ伝と並ぶ歴史をもっており、鎌倉時代初期の名工・行平【ゆきひら】をはじめ、多くの刀工を輩出した日本刀の一大産地でした。

本展では、行平の名刀2振をはじめ、おおいたの刀を中心に11振を展示し、日本刀の歴史とその魅力をわかりやすく紹介します。

また、宇佐市出身の双葉山は不滅の69連勝をはじめ、5場所連続全勝優勝、年2場所時代の優勝12回など数々の偉業を残し昭和の大横綱、不世出の横綱と称えられています。戦時下の日本において相撲は国民的娯楽であり、「双葉の前に双葉無し、双葉の後に双葉無し」の言葉が示すように、「常勝」双葉山はまさに国民的英雄でした。

本展示では、今年度大分県に寄贈された日本有数の大相撲コレクション(中園コレクション)の中から、双葉山の書や手形、当時の番付・新聞、写真などの貴重な資料を展示し、改めて双葉山の偉大な業績を振り返ります。

また、輪島の化粧まわしや千代の富士の書等、昭和・平成を彩った力士たちの資料も併せて展示いたします。



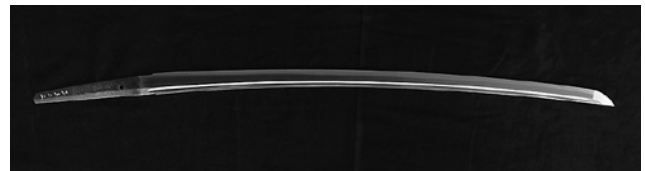
写真特報東京日日「新横綱双葉山」



横綱「双葉山」手形



短刀(銘「行平作」)



刀(銘「藤原行久作 池辺悰川佩」)赤羽刀

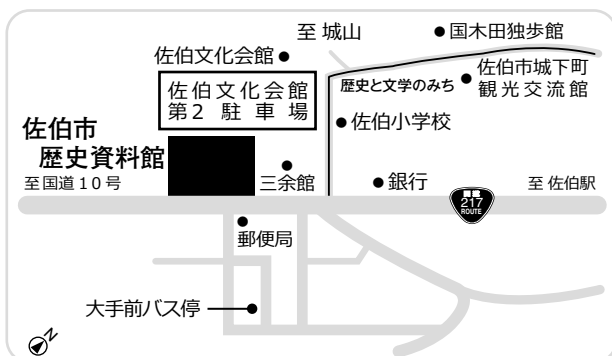
【主な展示資料】

豊後の名刀

- ◆ 太刀(銘「豊後国行平作」) ※県指定
- ◆ 短刀(銘「行平作」)
- ◆ 刀(銘「和泉守兼定」)
- ◆ 刀(銘「藤原行久作 池辺悰川佩」) 赤羽刀
- ◆ 刀(銘「豊州高田住藤原貞行」)
- ◆ 脇差(銘「豊州高田住藤原行長」) 赤羽刀

大横綱双葉山

- ◇ 双葉山書手形
- ◇ 双葉山書「寿」
- ◇ 番付(昭和2年10月)「初めて番付に載る」
- ◇ 東京朝日新聞「双葉山敗れる」
- ◇ 写真特報東京日日「新横綱双葉山」
- ◇ 輪島化粧まわし



佐伯市歴史資料館 アクセス

■公共交通機関でお越しの場合

JR佐伯駅からバスで約6分、「大手前」下車徒歩3分

■お車でお越しの場合

東九州自動車道 佐伯IC・佐伯堅田ICから約15分

駐車は隣の佐伯文化会館第2駐車場(無料)

佐伯市歴史資料館

〒876-0831 大分県佐伯市大手町1丁目2番25号
TEL 0972-22-0700 FAX 0972-22-0701